

第一部 米国と日本のプレコンセプションケアについて

職域における プレコンセプションケア

東京大学大学院医学系研究科

生殖発達加齢医学専攻 産婦人科学講座 周産期医学

医学博士・産婦人科医師 甲賀かをり



プレコンセプションケア日米合同カンファレンス 利益相反状態の開示

筆頭演者氏名： 甲賀かをり
所属： 東京大学大学院医学系研究科

私の今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反状態はありません



甲賀かをり

1996年 千葉大学卒業 東京大学医学部附属病院産婦人科初期研修医

2003年 東京大学大学院医学系研究科 博士課程修了

「子宮内膜症の基礎的臨床的研究」

2006年 豪州 Prince Henry Institute, 米国 Yale University

「早産・妊娠高血圧症候群の研究」

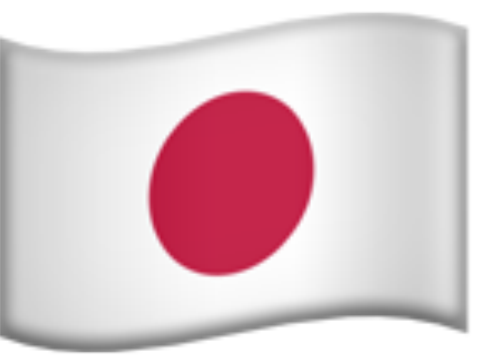
2008年 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 助教

2013年 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 講師

2014年 東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授

日本産科婦人科学会産婦人科専門医／指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本生殖医学会生殖医療専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医／指導医、日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医、ロホット支援下手術術者資格 (da Vinci certificate)

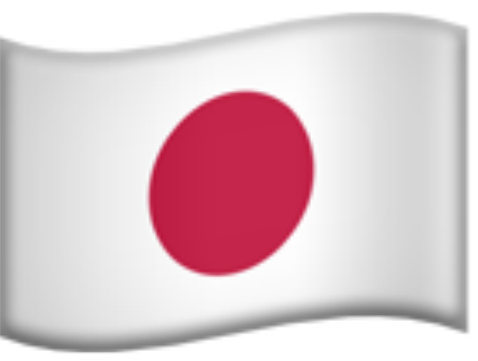




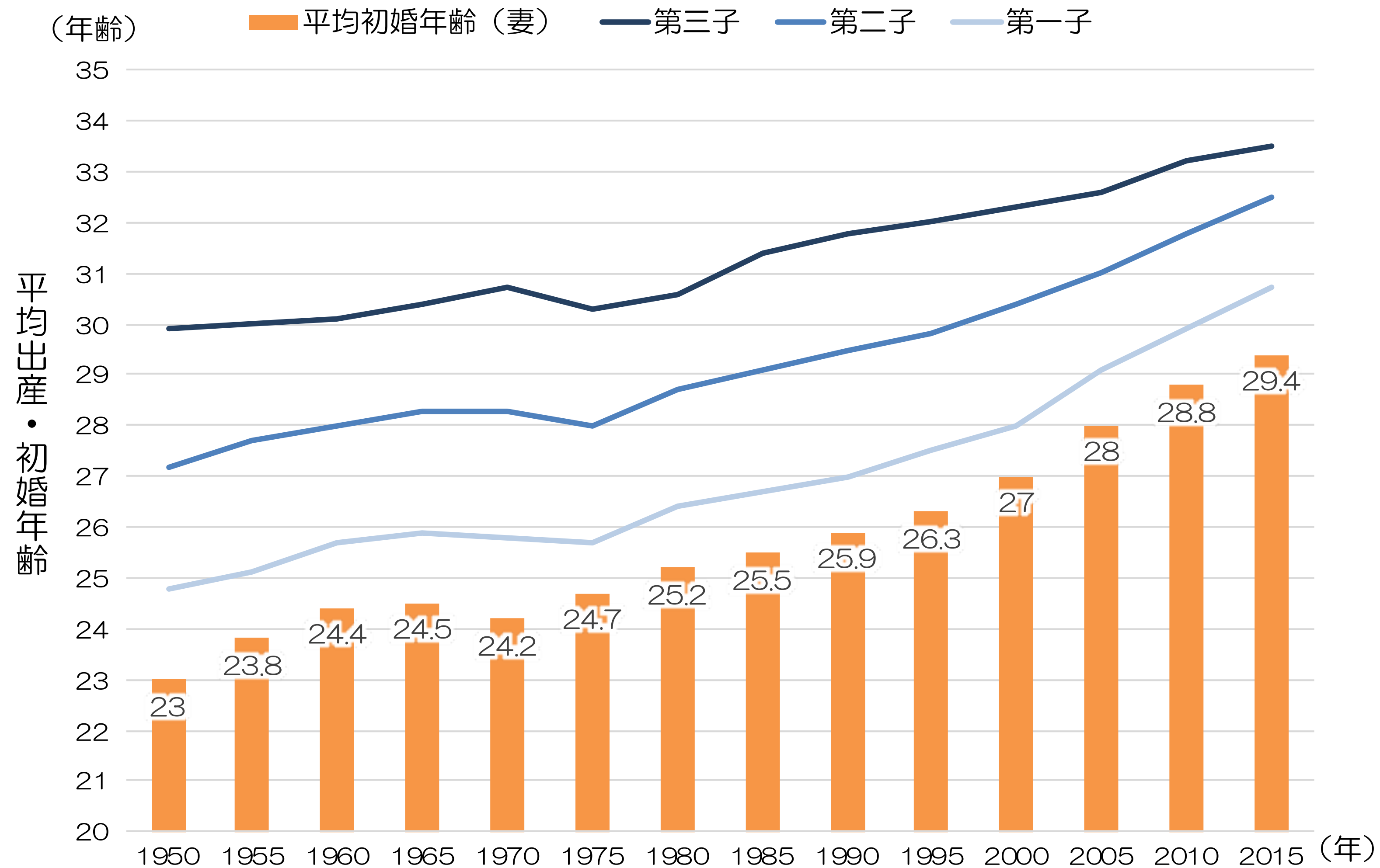
職域における プレコンセプションケア

女性ヘルスケア背景

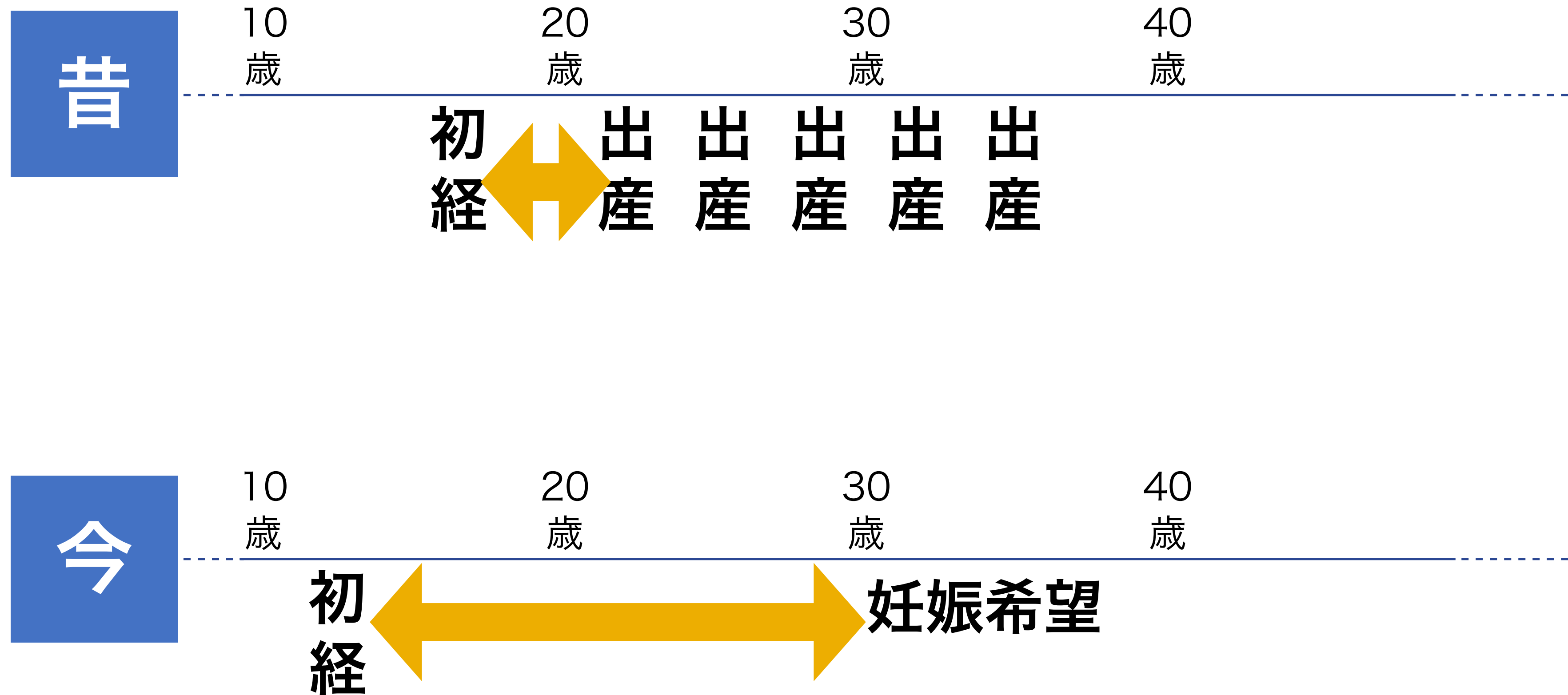




平均出産年齢・初婚年齢 年次推移 1950-

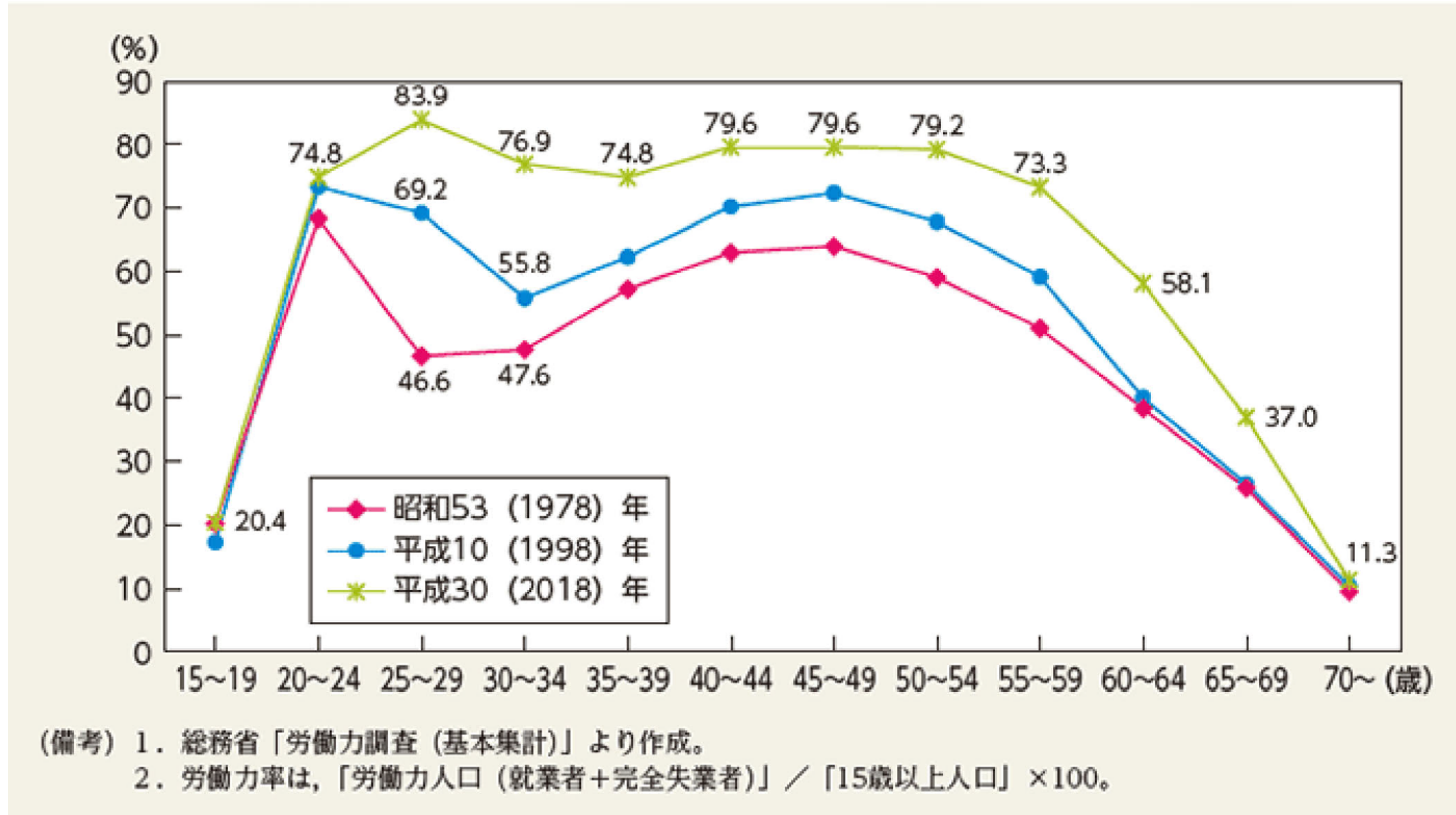


プレコンセプション期間の延長





女性の就労率 年次推移 1978-





10
歳

20
歳

30
歳

40
歳

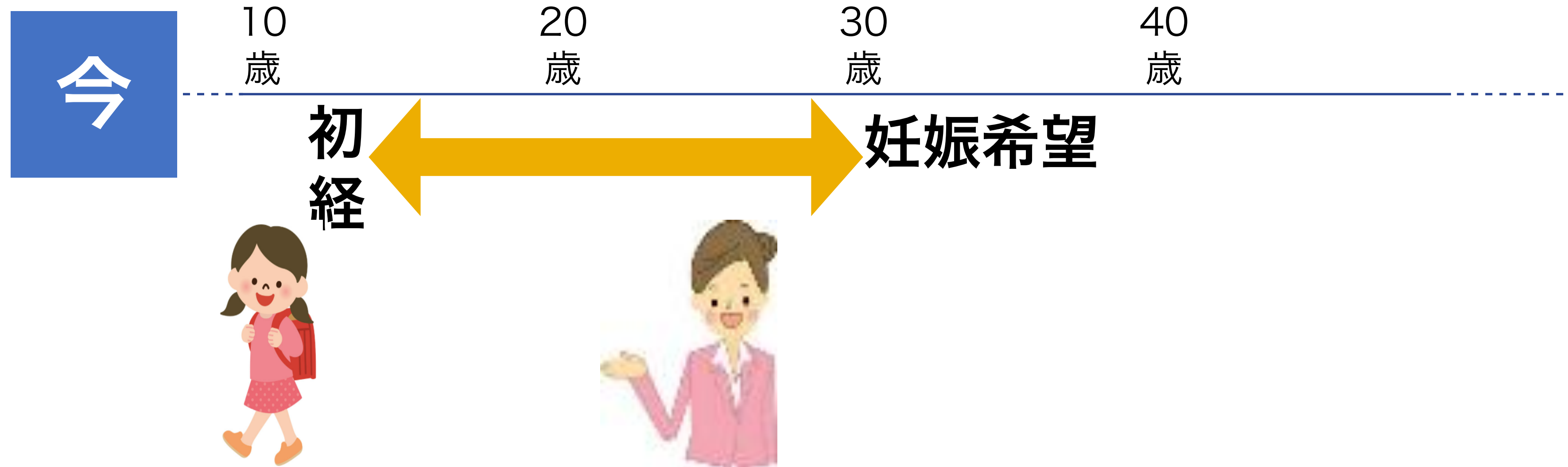
初
経



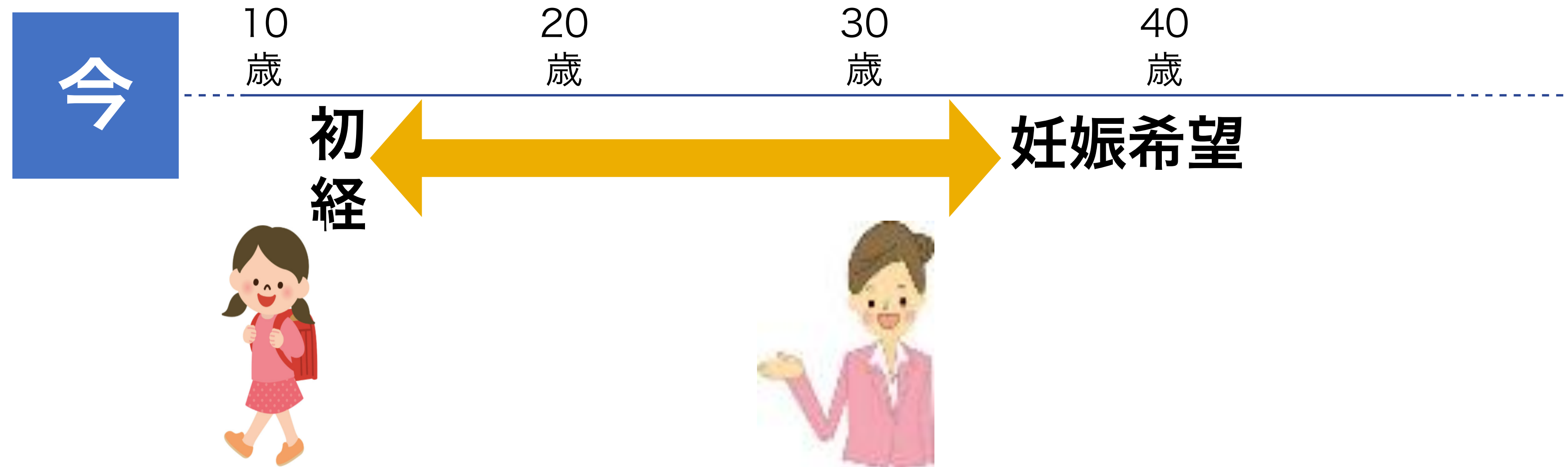
妊娠希望



プレコンセプション期間とキャリア形成期の重なり



プレコンセプション期間のさらなる延長



プレコンセプション期間のさらなる延長

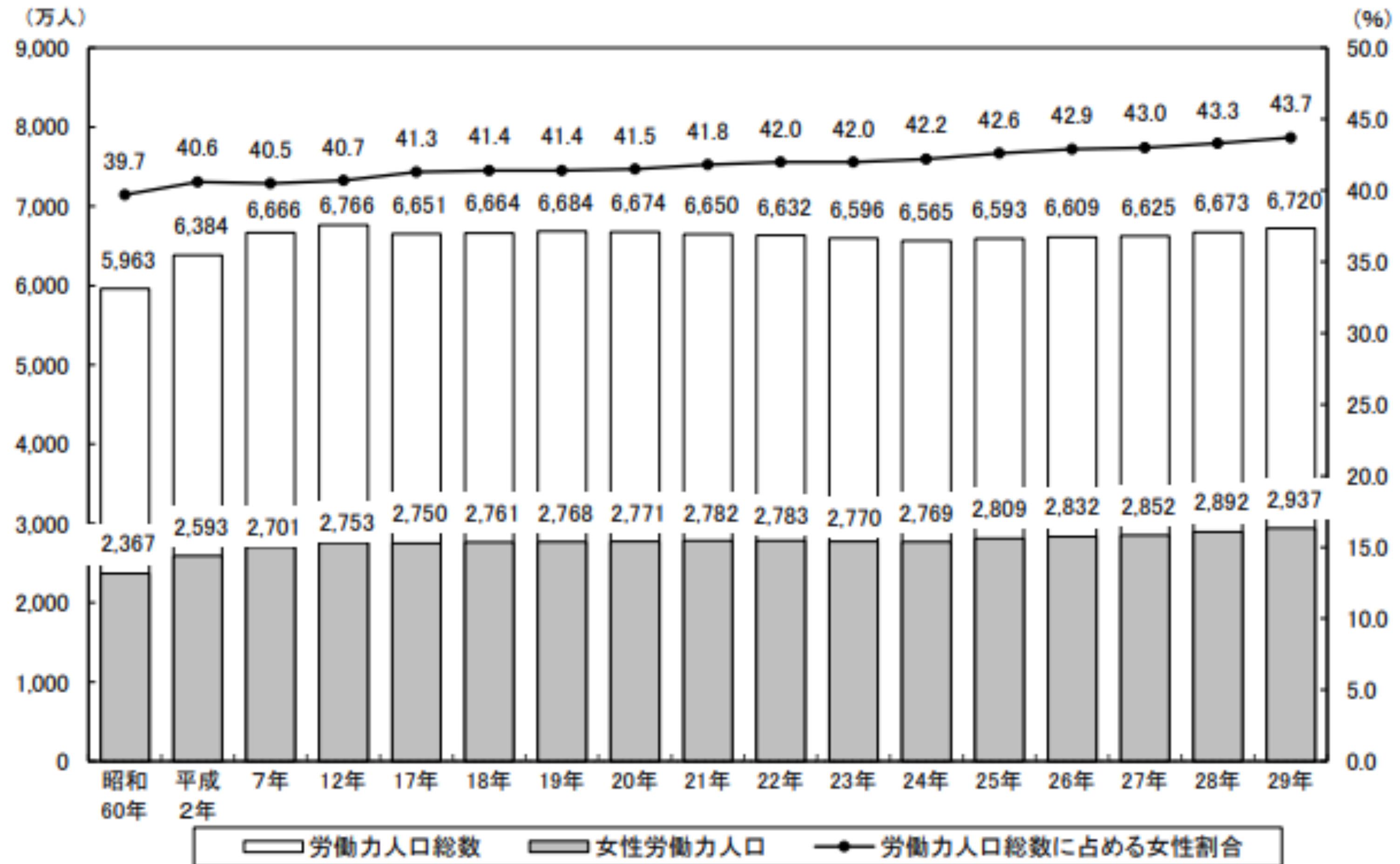


就労女性をターゲットとした
啓発が有用
→ 職場？



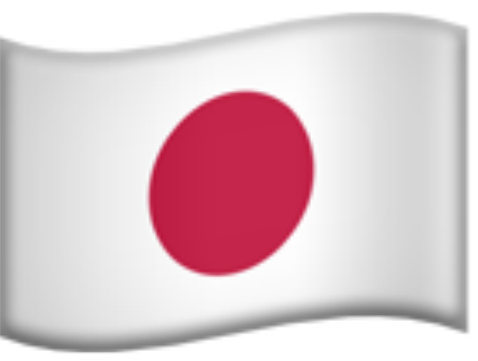


労働人口に占める女性割合年次推移 1985-

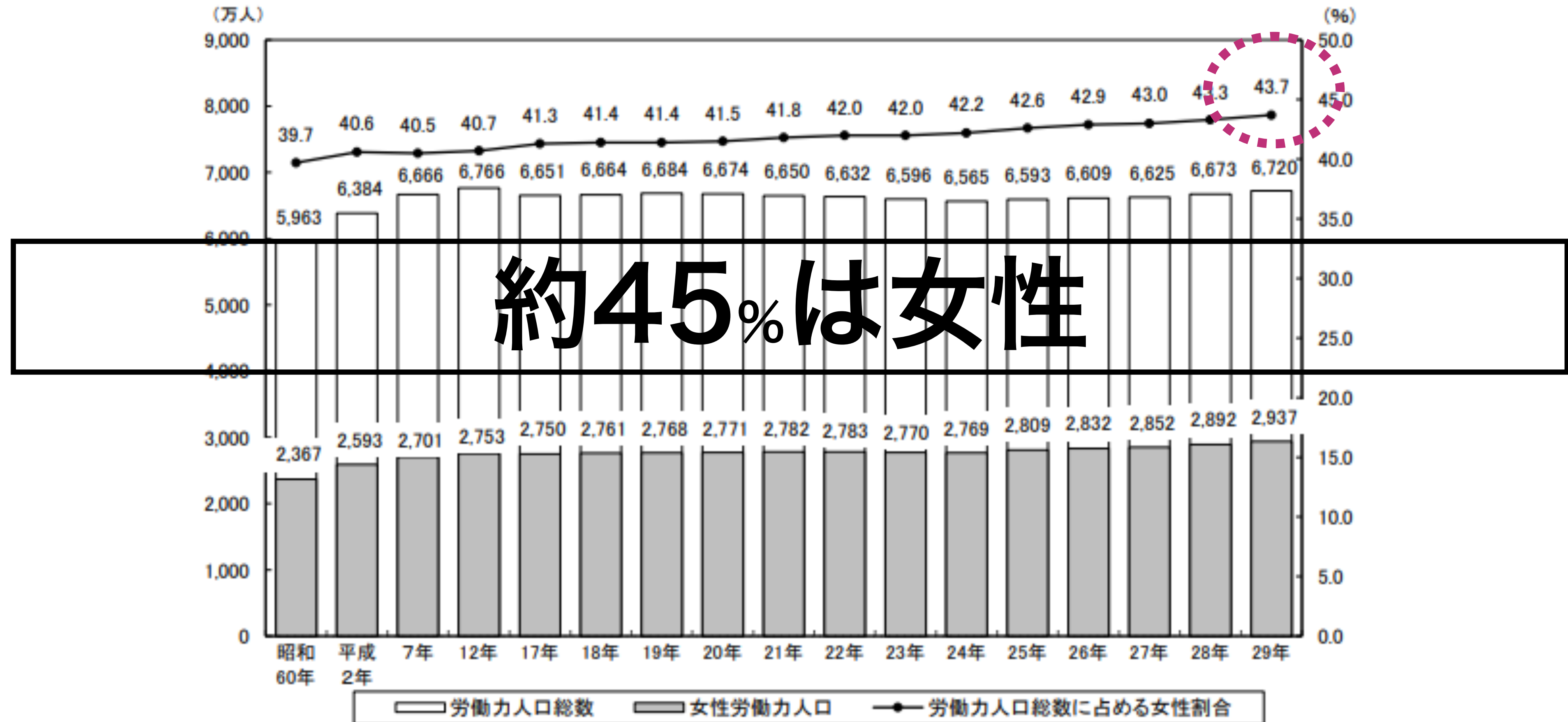


資料出所：総務省「労働力調査」

「労働人口の男女別構成比」は、厚生労働省雇用環境・均等局作成。

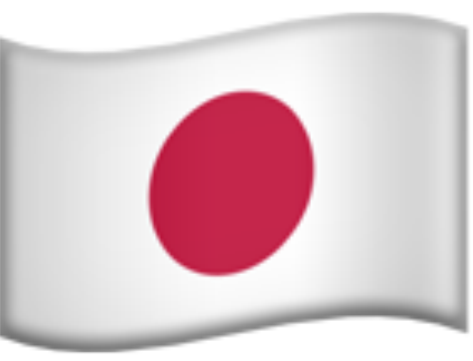


労働人口に占める女性割合年次推移 1985-

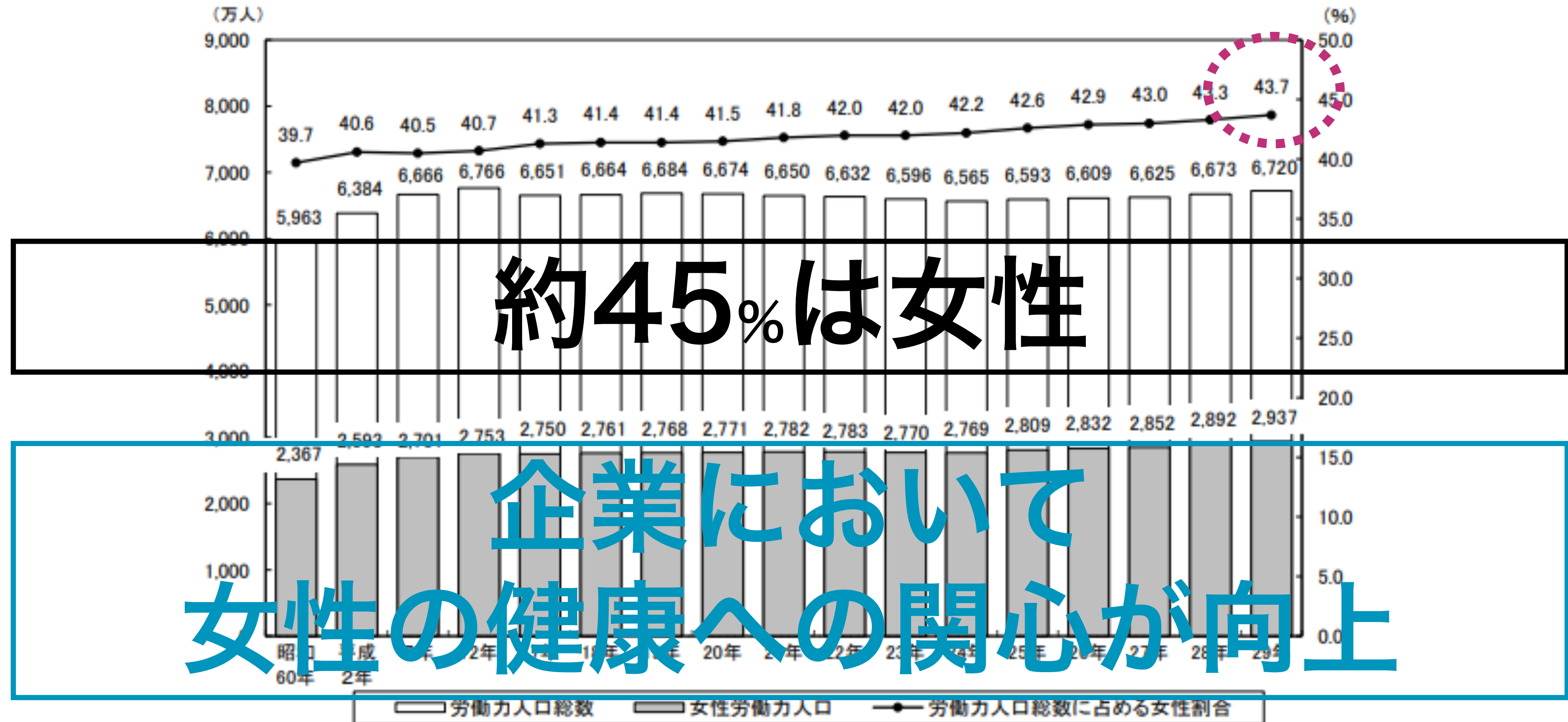


資料出所：総務省「労働力調査」

「労働人口の男女別構成比」は、厚生労働省雇用環境・均等局作成。



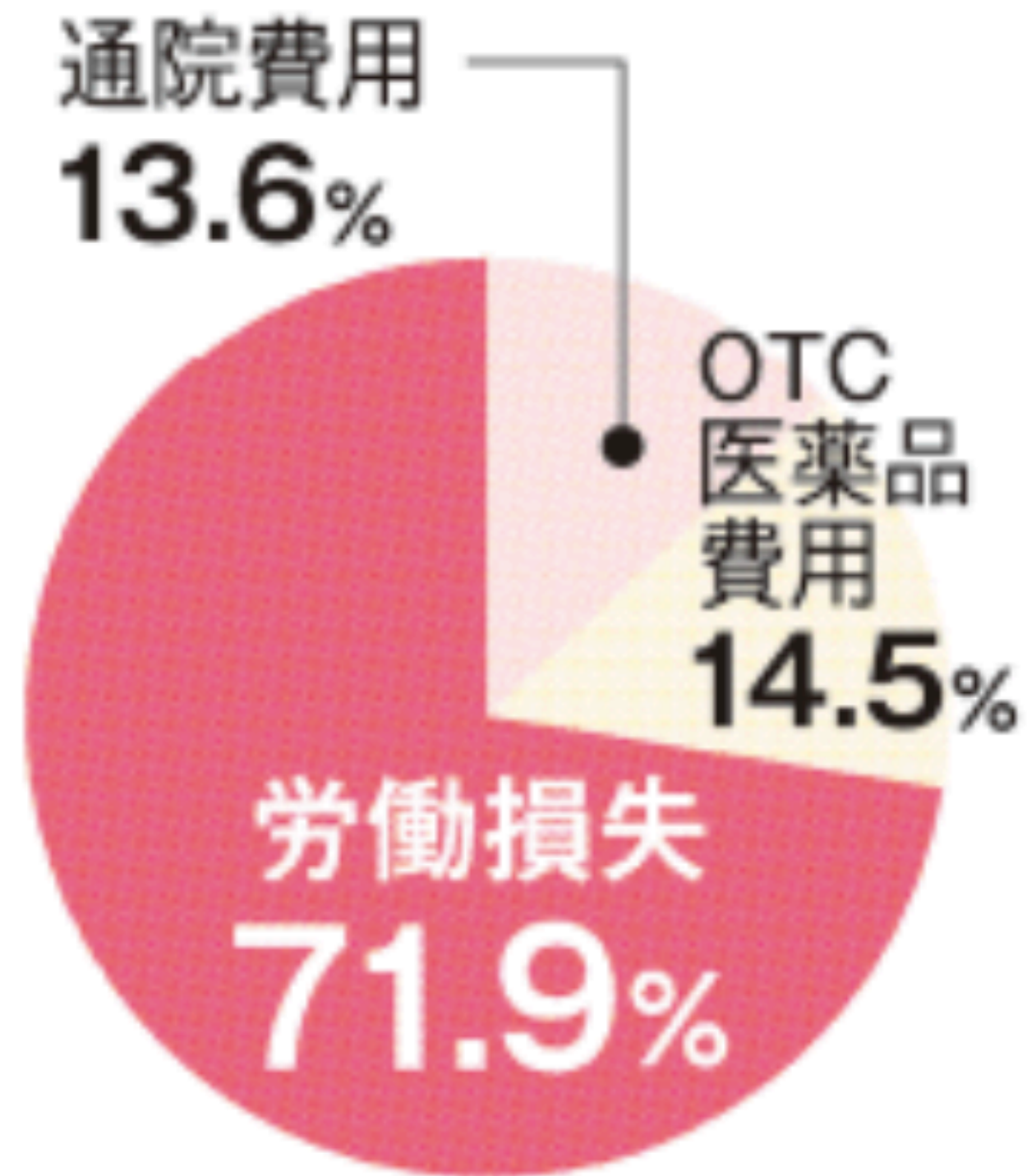
労働人口に占める女性割合年次推移 1985-



資料出所：総務省「労働力調査」
「労働力人口の男女別構成比」は、厚生労働省雇用環境・均等局作成。

働く女性の健康への関心の高まり

■ 月経随伴症状による1年間の社会経済的負担



内 訳	推計額
通院費用	930億円
OTC 医薬品費用	987億円
労働損失	4,911億円
総 計	6,828億円

OTC 医薬品:一般用医薬品

働く女性の健康への関心の高まり

2016年 女性活躍推進法

2016年1月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査結果」

2018年3月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査2018」

2018年7月 経済産業省ヘルスケア産業課
「健康経営における女性の健康の取り組みについて」

2018年8月 日本産業衛生学会政策制度委員会
「働く女性の健康確保を支援するために」



働く女性の健康への関心の高まり

2016年 女性活躍推進法

2016年1月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査結果」

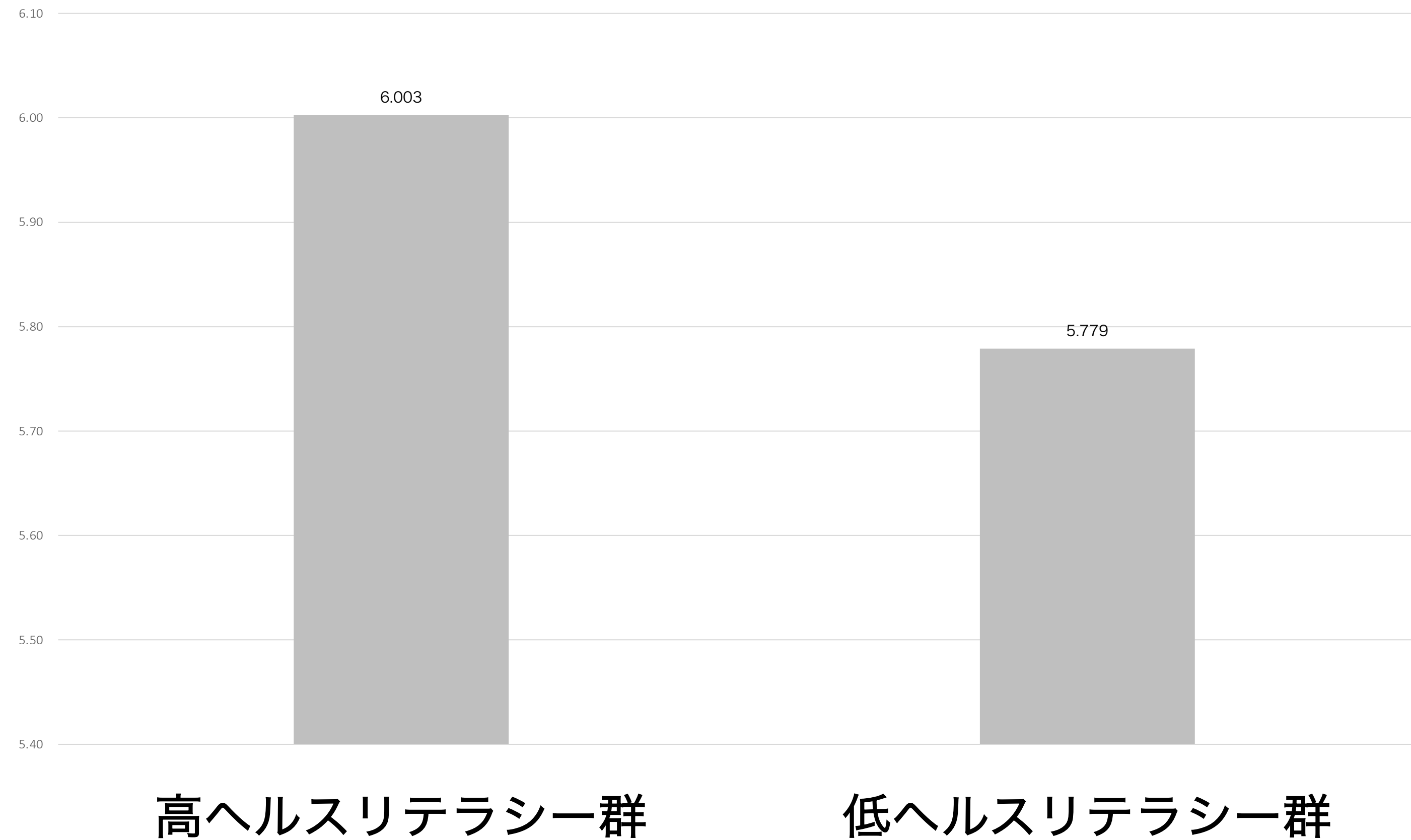
2018年3月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査2018」

2018年7月 経済産業省ヘルスケア産業課
「健康経営における女性の健康の取り組みについて」

2018年8月 日本産業衛生学会政策制度委員会
「働く女性の健康確保を支援するために」



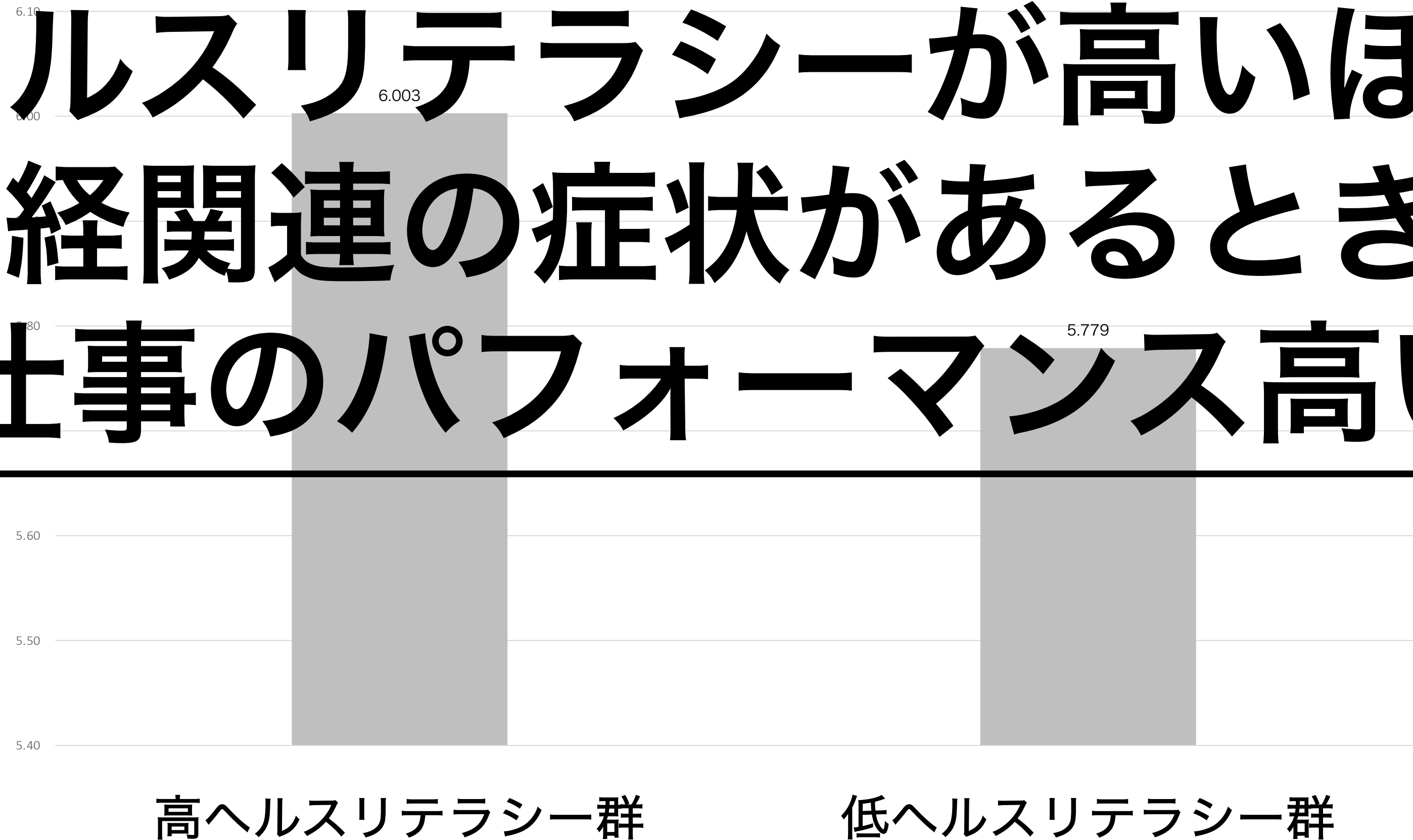
ヘルスリテラシー高低群× PMS（月経前症候群）や月経随伴症状時の仕事のパフォーマンス (n=2000)



ヘルスリテラシー高低群×

PMS（月経前症候群）や月経随伴症状時の仕事のパフォーマンス (n=2000)

ヘルスリテラシーが高いほど
月経関連の症状があるときの
仕事のパフォーマンス高い



ヘルスリテラシー高低群×

PMS（月経前症候群）や月経随伴症状時の仕事のパフォーマンス (n=2000)

ヘルスリテラシーが高いほど
月経関連の症状があるときの
仕事のパフォーマンス高い

ヘルスリテラシーを高める
企業のインセンティブ

高ヘルスリテラシー群

低ヘルスリテラシー群

働く女性の健康への関心の高まり

2016年 女性活躍推進法

2016年1月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査結果」

2018年3月 日本政策医療機構
「働く女性の健康増進に関する調査2018」

2018年7月 経済産業省ヘルスケア産業課
「健康経営における女性の健康の取り組みについて」

2018年8月 日本産業衛生学会政策制度委員会
「働く女性の健康確保を支援するために」



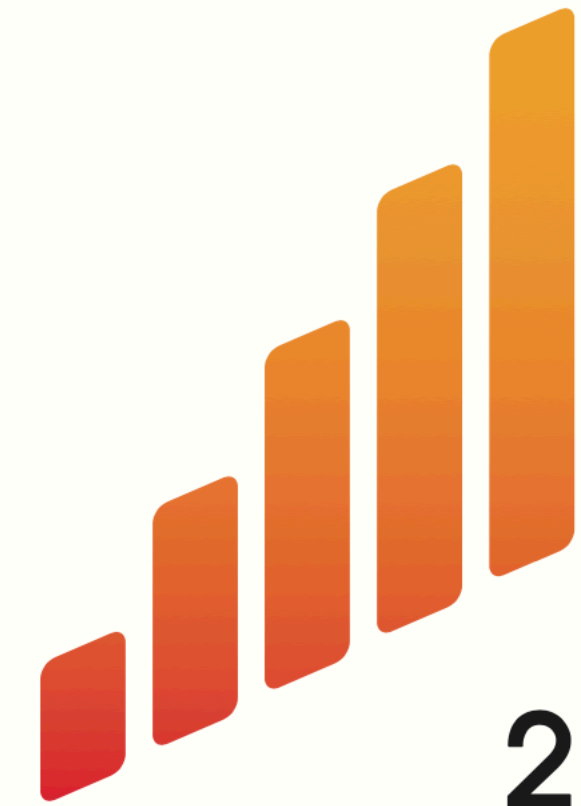
働く女性の健康へに対する関心の高まり



経済産業省



JPX
TOKYO STOCK EXCHANGE



2019

健康経営銘柄

Health and Productivity

3. 選定要件

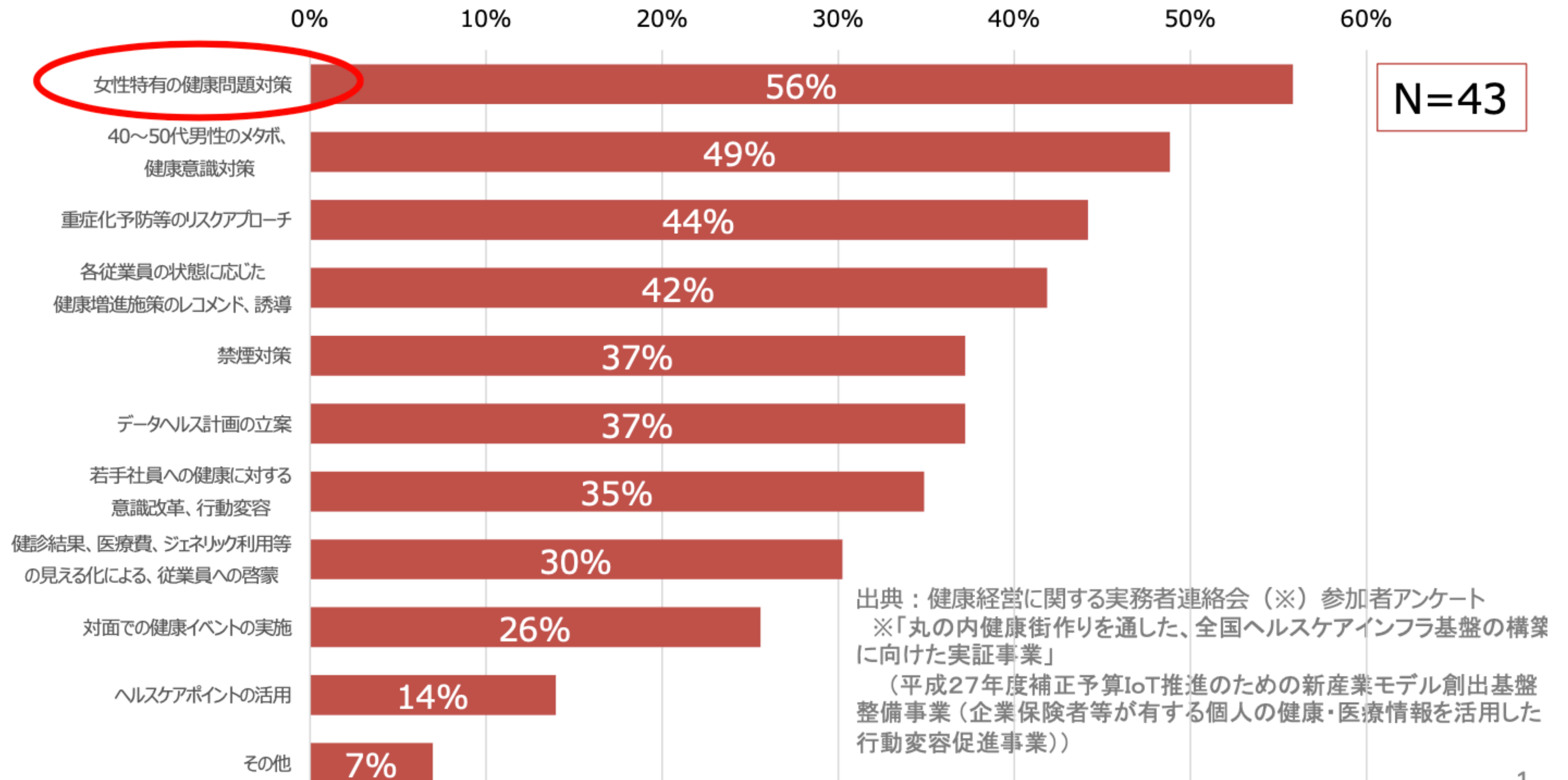
今年度は以下の点について変更がありました。

- 「受動喫煙対策に関する取り組み」を必須項目化。
- 「生活習慣病予備群者への特定保健指導以外の保健指導」、「健康保持・増進やメンタルヘルスに関する教育」について、選定要件において「各施策の参加率(実施率)を測っていること」を求めることとする。
- 「女性の健康保持・増進に向けた取り組み」を選定要件に追加。



働く女性の健康に対する関心の高まり

「健康経営」の取り組みで関心が高いものをお聞かせください。（複数選択可）



プレコンセプションケア × 職場での啓発

実際の取組み





プレコンセプションケア × 職場での啓発

日本医療研究開発機構AMED
女性の健康の包括的支援実用化研究事業
「プレコンセプションの女性に着目した疾患予防に関する総合的ケアの確立」
での取り組み



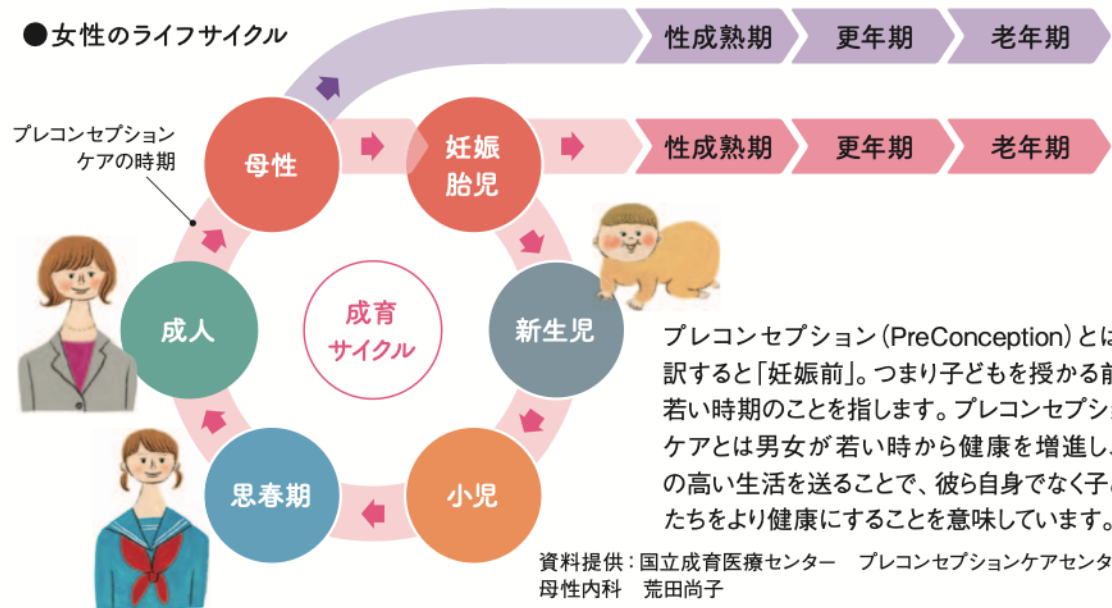
産婦人科医による企業での対面双方向性講義



講義時に配布したパンフレット

プレコンセプションケアとは？

◆ 次の命だけでなく女性自身の未来につなぐ健康維持



妊娠前の生活が将来の赤ちゃん和家人の健康につながっています

妊娠する前の体調や生活習慣が将来の赤ちゃんにも影響することがわかってきています。

妊娠前に…	将来赤ちゃんが…	赤ちゃんが大人になると…
<input type="checkbox"/> タバコを吸う <input type="checkbox"/> 過剰なアルコール摂取 <input type="checkbox"/> 運動嫌い <input type="checkbox"/> 葉酸不足 <input type="checkbox"/> 感染症・ガン健診を受けていない <input type="checkbox"/> 慢性疾患がある <input type="checkbox"/> 歯周病	<input type="checkbox"/> 早産 <input type="checkbox"/> 胎児発育不全 <input type="checkbox"/> 低出生体重児 <input type="checkbox"/> 先天性異常 <input type="checkbox"/> 中枢神経障害 <input type="checkbox"/> 二分脊椎 <input type="checkbox"/> 神経管閉鎖障害	<input type="checkbox"/> 2型糖尿病 <input type="checkbox"/> 肥満 <input type="checkbox"/> 発育の遅れ <input type="checkbox"/> 視力障害 <input type="checkbox"/> 運動発達異常

毎月やってくる“月経”を知ることがプレコンの第一歩になります。

“月経”は女性にとって健康がどうかを知るためのバロメーター。いまの自分の状態を知りましょう。

あなたの月経を思い出してください

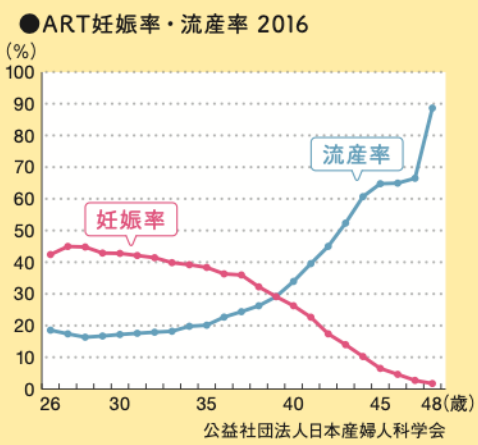
<p>月経痛は？</p> <p>○ あっても軽い腹痛 × 日常生活に支障をきたす痛み、薬が効かない</p> <p>月経痛がしだいに月ごとにひどくなってきている、薬をも回数が増えている場合も要注意です。</p>	<p>月経の間隔は？</p> <p>○ 25～38日おき × 24日以下、39日以上</p> <p>月経の初日から次の月経開始の前日までを1周期といえます。24日以下は頻発月経、39日以上の周期でくる月経は希発月経といわれています。</p>	<p>月経の持続日数は？</p> <p>○ 3～7日 × 1～2日、8日以上続く</p> <p>月経の持続日数とは出血している日数のこと。出血している日数が2日以内を過短月経、8日以上のもを過長月経といえます。</p>
<p>出血量は？</p> <p>○ 20～140ml × ナプキンを1～2時間で交換しなければいけない、2.5cm以上の血のかたまりができる</p> <p>1～2時間でナプキンから漏れてしまうような大量の出血、2.5cm以上の血のかたまりができる場合は婦人科を受診しましょう。</p>	<p>月経前の体調は？</p> <p>○ イライラやだるさがあっても我慢できる × 感情がコントロールできない</p> <p>生理前2週間はイライラ、過食、眠気が起こる月経前症候群(PMS)になりやすい時期です。精神的な不調が強く出る場合は月経前気分不快障害(PMD)の可能性も。</p>	<p>月経時以外は？</p> <p>○ 特に問題なく過ごせている × 月経以外でも出血や腹痛がある。貧血がある</p> <p>月経以外の日でも月経痛に似た腹痛や下腹部痛を感じる場合は子宮内膜炎や子宮筋腫、ガン、ストレスなど他の原因の可能性が考えられます。</p>

×が1つでもある場合は、**婦人科医または産業医に相談してみましょう**

50名以上の労働者がいる企業には必ず一人いる産業医。産業医は通常の医師と同じで労働者の同意がない限り、他人に情報を漏らすことはありません。産業医が会社にいる場合は相談してみましょう。また×が1つでもある方は、一度、婦人科を受診しましょう。



キャリアも子どももほしい！ だから知りたい「妊娠と年齢」のこと

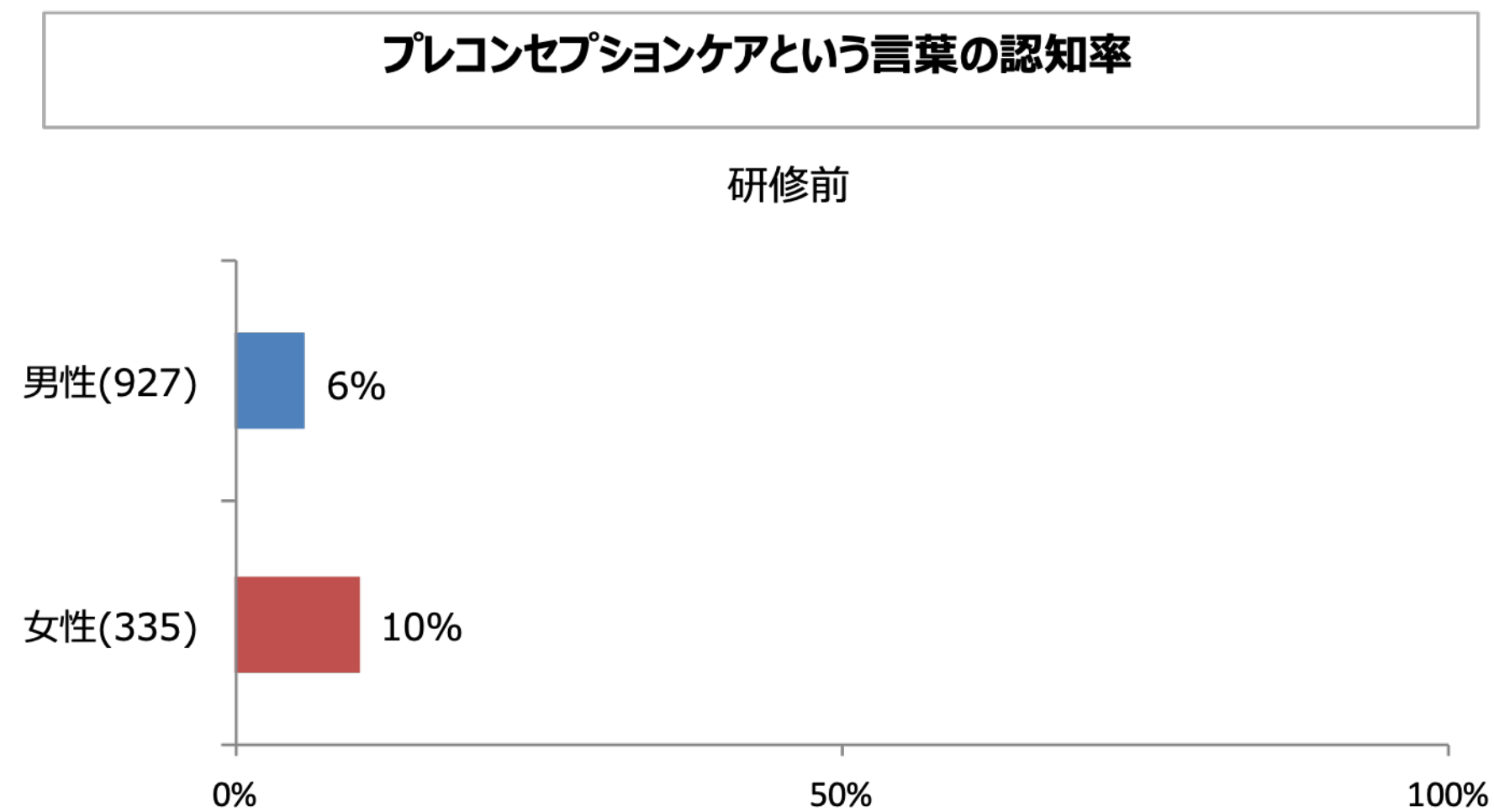


年齢があがるごとに妊娠率が低下し、流産率は上昇。42歳を過ぎると流産率が高くなる傾向が報告されています。妊娠に適した年代は20～30代といわれています。



講義前でのアンケート調査

プレコンセプションという言葉の認知



日本医療研究開発機構(AMED)事業女性の健康の包括的支援実用化研究事業(Wise) 妊孕能低下予防・妊娠合併症リスクの低減を目指したプレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発 2019パイロット調査(n=1168)



スマートフォン等で閲覧できる動画を用いたEラーニング

今、未来、そして次世代のための女性の健康 ～あなたや企業が明日からできること～

2019年度AMED（日本医療開発機構）「女性の健康の包括的支援実用化研究事業—wise」

妊孕能低下予防・妊娠合併症リスクの低減を目指した

プレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発

医学博士 産婦人科医師 甲賀かをり

公衆衛生学修士 助産師 今村優子

制作協力

大塚製薬株式会社 株式会社カラダメディカ 株式会社エス・エム・エス
株式会社エムティーアイ 株式会社リンケージ

調査協力

朝日生命保険相互会社 株式会社ニトリホールディングス 大和証券グループ本社
コニカミノルタ株式会社 株式会社ミュゼプラチナム



スマートフォン等で閲覧できる動画を用いたEラーニング

今、未来、そして次世代のための女性の健康

～あなたや企業が明日からできること～

2019年度AMED（日本医療開発機構）「女性の健康の包括的支援実用化研究事業—wise」

妊孕能低下予防・妊娠合併症リスクの低減を目指した

プレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発

知識定着・行動変容評価

内容・形式の最適化

効果的教育プログラムの開発へ



プレコンセプションケア × 職場での啓発

機運

- ☺多くの企業が女性の健康問題に注目
- ☺女性活躍支援

課題

- ☹管理職層へのアプローチの必要性
- ☹男性プレコンセプションの啓発
- ☹啓発後の受け皿（産婦人科医？）
- ☹エビデンスの不足



謝辞

このような発表の機会をいただいた
国立成育医療研究センター 荒田尚子先生
御清聴いただいたみなさまに
深く御礼申し上げます

